

城は伝説の宝庫

伝説の多くは生物、自然物、人工物などの事物に宿ります。それは図抜けて大きかったり、奇妙な色や形だったり、相応しくない場所にあったり、特別な能力を備えているとか、感動でも、畏怖でも、奇異の念でも、人々に強い興味を抱かせる特異なものでなければなりません。

そのような事物を目の当たりにすると、何故そうであるかを、人は知りたがります。そして、多少理屈にあわなくても、その土地、その時代に生きる人々の常識とさほど乖離がなく、さもありなん、と一応の納得を得る答えを見出すことができれば、それは伝説となって語られていきます。

例えば、城は伝説の宝庫です。巍然とした天守や堅牢な城郭は、是非もなく衆人の目を惹きつけます。しかも近代以前、特に封建の世にあっては、多くの庶民にとって堀の内側は未知なる世界でした。人々が、あれこれ想像をめぐらすには格好の題材だったのです。



松本城